



平成24年度 横浜国立大学 FD活動報告書

大学教育の質的転換を迎えて

FD推進部門長 上野誠也

文部科学省中央教育審議会（中教審）が文部科学大臣からの諮問「中長期的な大学教育の在り方について」を受けて、昨年8月に発表した答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」は、日本のFD推進活動に大きなインパクトを与えた。それまで行っていたFD活動を一気に加速する方向性を文部科学省が打ち出したのである。

FD推進活動は、教員の教育手法に重点を置いて進められてきた。学生が理解しやすい教育方法は何かという問いに答えるように、教員の活動の改善を主に提案して来ていた。その結果として、学生が自主的に学ぶ環境が教育効果を上げるという結論に至り、「アクティブ・ラーニング」の言葉が示す教育方法の流れが生み出されてきた。

それに対し、中教審の答申は、この結論を前面に打ち出し、さらに学生を主に置く視点で大学教育を考える姿勢を示している。改善された教育方法が評価対象ではなく、教育の結果として得られ

る学生の行動が評価対象となっている。学生が教員から習うことを意味する「学習」ではなく、学生が自ら学業を修める「学修」を大学教育で実施することを要求している。

今年度の本学のFD推進活動も、この答申を受けて、新たな企画を打ち出した。11月に開催したFDシンポジウムは、国レベル、大学レベル、学生・教員レベルで「学修」を考える企画を実施した。それぞれのテーマに日本を代表する講師を招き、質の高い講演会となった。さらに、各部署でFD推進部が講演を行うFDミニシンポジウムでは、学生・教員レベルに有効なツールとして次年度から導入される学生ポートフォリオを取り上げた。

8月の答申にすぐに対応できたのは、今年度の重点テーマに含めていたからである。

【重点テーマ3】

教員が教える教育から学生が学ぶ教育へ

本学のFD推進活動には、昨年度からアクティブ・ラーニングに注目していた流れがあり、より

深く推進を進めようとして、このテーマを挙げていた。運よく中教審の答申がこのテーマを加速し、充実した結果となった。

今年度の重点テーマには、他に2件の継続テーマを挙げていた。

【重点テーマ1】

YNU イニシアティブの実現に向けて

平成23年度に作成したカリキュラム・マップの充実を図り、新たにカリキュラム・ツリーの作成に向けて、教務厚生部会の活動を後押しする形で6月に講演会を実施した。

【重点テーマ2】

授業評価アンケートの抜本的改革

テーマに含まれている「授業評価アンケート」が

「授業アンケート」に変わる改革を行った。学生と教員のコミュニケーションツールとして、アンケートの存在は欠かせないものである。今後はシステム改修などの大幅な改革の時期に見直しを入れるレベルとなった。

大学におけるFD活動は、FD推進部が単独で進めるものではない。教務厚生部会を始め、教育にかかわる学内組織と連携を取りながら、進めるものである。学生・職員・教員が一丸となって、横浜国大の教育の質的転換を実現する必要がある。FD推進部は次年度も新たなテーマを設定し、教育改善に有益な情報を提供する計画である。今後も皆様のご協力をお願いしたい。

平成24年度 FD推進部の活動

研修会・シンポジウムWG報告

1) 初任教員研修会

開催目的: 初任教員研修会をまだ受けていない平成22年4月2日から平成24年4月1日までに本学および附属学校に採用された教員を対象とした研修会である。横浜国立大学の教育理念・教育目標などを踏まえて、魅力ある授業を行うための教育改善に取り組むと共に、初任教員が部局を超えて本学への帰属意識を持つきっかけになる場を設けることを目的とした。

研修は二部構成とし、第一部では学長をはじめとする6名の方に講演をお願いし、横浜国大の取組を紹介していただいた。第二部は大学教員と附属学校教員とを分けて実施し、大学初任教員対象の第二部をFD推進部が担当した。尚、第一部の最後に前年度に開設したYNUミュージアムの見学会を行った。

開催日時: 平成24年4月2日 13:00-16:00
開催場所: 教育文化ホール中集会室他
参加者数: 約60名



初任教員研修会で挨拶をする鈴木学長

プログラム:

【第一部】(全体で実施)

- 大学の概況について・・・ 鈴木 邦雄学長
- 本学の研究について・・・ 國分 泰雄理事
- 本学の教育について・・・ 溝口 周二理事
- 本学の教育研究評価について・・・ 山田 均副学長
- 情報セキュリティについて・・・ 大山 力情報基盤センター長
- 大学職員の役割について・・・ 竹下 典行理事
- 就業規則等について・・・ 山中 次男人事・労務課長

※2班に分かれてYNUミュージアムの見学
【第二部】（大学初任教員対象）

大学教育総合センターとは・・・

小野 康男 大学教育総合センター長

FDとは・・・ 上野 誠也 FD推進部門長

授業コンサルテーションの紹介・・・

安野 舞子 FD推進部講師

魅力ある授業へ向けて[ワークショップ]・・・

FD推進部

【第二部】（附属学校初任教員対象）

附属学校初任教員研修会・・・

教育人間科学部にて実施



ワークショップで議論する参加者

成果と課題： 横浜国立大学を知る機会を提供するだけでなく、新任教員にとって他部局あるいは他附属学校の教員と接する場としても有効であった。

第二部は大学初任教員と附属学校初任教員の2グループに分けての実施方式を今年度も採用した。FD推進部は大学初任教員のみを対象としたグループを担当し、講演会およびワークショップを実施した。ワークショップは、「学生に対して伝えたいことー授業の時に伝えたいことー研究を通して教えたいこと」というテーマに対してグループで議論を進めた。同じような立場の教員間で様々な意見交換ができて、効果的であった。このような意見交換の場は初任教員研修会以外に無いので、参加者には今後も自発的に企画・実行してもらえればありがたいと考えている。

2) TA研修会

開催目的： 担当教員の自主的な判断に任せられているTA（ティーチング・アシスタント）の導入教育を実施した。受講学生の履修を援助する技術を高めることを目的とした。今年度も、実験・

演習担当と講義・ゼミ担当とに分けて、実施した。TAの確定時期と作業の開始時期を考慮し、2グループに分ける必要があるが、研修内容はほぼ同じとした。

[実験・演習担当]

開催日時：平成24年4月11日16:20-17:40

開催場所：理工学部事務棟第1会議室

参加者数：78名



TA研修会風景「実験・演習担当」

[講義・ゼミ担当]

開催日時：平成24年5月30日16:20-17:40

開催場所：教育人間科学部事務棟2階会議室

参加者数：10名



TA研修会風景「講義・ゼミ担当」

プログラム：(両担当とも共通)

TAの役割と責任・・・

上野 誠也 FD推進部門長

TA実践ワークショップ・・・ FD推進部

TA経験者インタビュー・・・

安野 舞子 FD推進部講師

質疑応答・・・

上野 誠也 FD推進部門長

成果と課題: 恒例となったTA研修会を今年度も同じ形式、同じ内容で実施した。自由参加型の研修会とし、実験・演習担当には78名、講義・ゼミ担当には10名の参加者があった。特に、講義・ゼミ担当は学生がTAを担当することが決まってから研修会までの時間が少ないこともあり、少ない参加者の結果となった。

終了後のアンケートを見ると、具体的な仕事が分からないという回答があった。理系のTAはほとんどが本学の出身者であり、自分が学部生の時に実際にTAを見ている。しかし、文系のTAは他大学出身者もおり、作業のイメージが無い参加者がいた。参加者の知識の差を考慮した内容に改良を加える必要がある。

3) FD シンポジウム

「大学に求められる教育の質的転換 ～学習から学修へ～」

開催目的: 文部科学省中央教育審議会が平成24年8月に「新たな未来を築くための大学教育の質的転換にむけて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」という答申を発表した。大学教育に大きな転換を要求する答申である。これを受けて、今年度のFDシンポジウムは3名の外部講師の講演で構成する内容を企画した。第一部では答申の背景を学び、第二部では大学としての取組みを、第三部では個々の教員・学生の具体的な取組みの例を学ぶこととし、今後の本学における改革に繋がることを目的とした。お呼びした講師の方々は、それぞれの講演内容では著名な方であったので、近隣大学からの参加者も認める公開シンポジウムとした。

開催日時: 平成24年11月2日 13:00-16:00

開催場所: 教育文化ホール大集会室

参加者数: 100人

プログラム:

挨拶 ……鈴木 邦雄学長

第1部 大学教育の質的転換について

……文部科学省企画官 合田 哲雄氏

第2部 新潟大学における学士課程教育の構築とその実質化に向けての取組

……新潟大学副学長 濱口 哲氏

第3部 学生の能動的学修を促すラーニング・ポートフォリオ

……帝京大学高等教育開発センター長 土持・ゲーリー・法一氏



講演中の合田氏



講演中の濱口氏



講演中の土持氏

成果と課題: 大学教育の質的転換に向けて、大いに参考になる講演をいただいた。FD推進部は今年度の重点テーマの一つに「アクティブ・ラーニング」を挙げている。アクティブ・ラーニングは、答申に示された学生が「主体的に考える」ための教育方法を扱っている。FDシンポジウムは成功裏に終了したが、FD推進活動はまだスタートしたところである。次年度の学生ポートフォリオの導入など、全学的に広める内容もある。全学の教員の協力とともに、学生が主体的に学ぶ横浜国立大学を築き上げていきたいと考えている。

4) FD ミニシンポジウム

「学生ポートフォリオの導入に向けて」
開催目的：平成 22 年度から FD 推進部では、各
 部局の教授会の前などに 30 分程度の時間を利用
 して、FD ミニシンポジウムを開催することを企
 画・実施している。今年度のテーマは、平成 25
 年度からの導入が決まっている「学生ポートフォ
 リオ」を取り上げた。その導入にあたっての背景
 の説明と、実際のシステムに接続したデモンスト
 レーションを見せた。学生がどのようなことを行
 っているか、また担当教員は何を行うかを中心に
 説明を行った。

[経営学部]

開催日時：平成 24 年 12 月 10 日 13:00-13:30

開催場所：経営学部大会議室

[経済学部]

開催日時：平成 25 年 1 月 7 日 13:00-13:30

開催場所：経済学部会議室

[留学生センター]

開催日時：平成 25 年 1 月 15 日 14:40-15:10

開催場所：留学生センター会議室

[教育人間科学部]

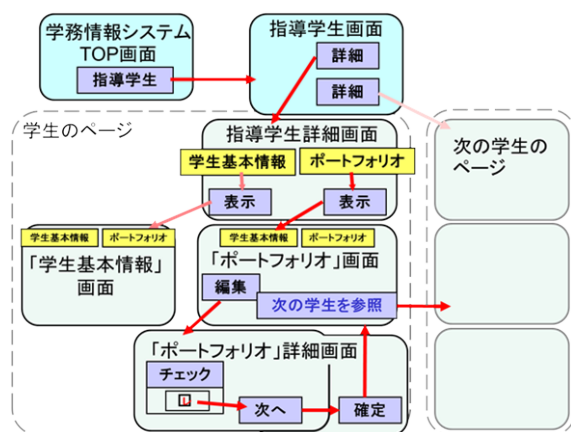
開催日時：平成 25 年 1 月 16 日 14:45-15:15

開催場所：教育人間科学部事務棟大会議室

[理工学部]

開催日時：平成 25 年 1 月 21 日 13:00-13:30

開催場所：理工学部第一会議室



学生ポートフォリオの画面構成

プログラム：(各部局共通)

講演「ポートフォリオとは」・・・10分
 デモ「学生ポートフォリオ」・・・15分
 質疑応答・・・5分

成果と課題：FD ミニシンポジウムは教員が参加
 しやすい時間と場所を選んでいるので、多くの教
 員が参加でき、効果的である。今回のテーマのよ
 うに全教員が知らなくてはいけないことを周知
 するには適した企画である。今後も FD ミニシン
 ポジウムを通して、FD 活動を全学的に広めてい
 く方針である。

5)その他の講演会

◆教務厚生部会講演会

開催日時：平成 24 年 6 月 25 日 9:30-10:30

開催内容：教務厚生部会において上野 FD 推進部
 門長が「YNU initiative の具現化に向けて *カ
 リキュラム・マップの縦チェック *カリキュラ
 ム・ツリーの作成」の講演を行った。

◆学務系職員研修

開催日時：平成 24 年 9 月 25 日 11:15-12:00 (26
 日も同一プログラムで実施)

開催内容：学務系職員研修の中で、教育改善学生
 グループが「学生FDグループの活動について」、
 安野FD推進部講師が「教員からみた本学の学生
 と大学に求められているもの」の講演を行った。

◆教務厚生部会講演会

開催日時：平成 24 年 11 月 26 日 9:30-10:30

開催内容：教務厚生部会講演会に弘前大学 21 世
 紀教育センター高等教育研究開発室の田中正弘
 准教授を講師に呼び、「成績評価の考え方および
 弘前大学と英国大学の事例」の講演をいただいた。

◆経済学部 FD 講演会

開催日時：平成 25 年 2 月 28 日 10:00-11:00

開催内容：経済学部 FD 講演会のなかで、上野
 FD 推進部門長が「大学教育はアクティブ・ラー
 ニングへ」の講演を行った。

合宿研修会WG報告

平成 24 年度横浜国立大学FD合宿研修会は、
 平成 24 年 8 月 30 日 (木)～平成 24 年 8 月 31
 日 (金)にかけて、八王子セミナーハウス (東京
 都八王子市下柚木 1987-1) にて実施された。ス
 ケジュールは、次の頁の通り。

<8月30日(木)>

テーマ:アクティブ・ラーニングへの招待

～学生の理解を深める効果的な学習方法～

13:00～13:10 開会

13:10～13:20 オリエンテーション

13:20～13:50 プログラムⅠ①「横浜国立大学におけるアクティブ・ラーニングへの取り組み」・・・FD推進部門長 上野 誠也

14:00～17:00 プログラムⅠ②「学生の意識を変える協同学習」・・・創価大学 関田 一彦

18:00～ 懇親会、第1日目終了

<8月31日(水)>

テーマ:教育の質の保証を考える ～成績評価のあり方について再考する～

9:00～10:30 プログラムⅡ①「主体的な学びを実現するための成績評価の在り方」

・・・北海道大学/筑波大学 小笠原 正明

10:40～11:10 プログラムⅡ②「学生側から見た成績評価に対する希望」

・・・学生FDスタッフ

11:15～11:55 プログラムⅡ③「何が足りない?何をすればいい?ディスカッション」(ワーク)

13:00～13:20 プログラムⅡ④「ルーブリック評価の実例」・・・FD推進部門長 上野 誠也

13:20～14:30 プログラムⅡ⑤「授業におけるルーブリック評価の試案作成演習」

・・・FD推進部門長 上野 誠也

14:30～15:00 閉会

学生参加型FDWG活動報告

本年度は、平成22年9月30日に教育改善学生グループ(以下、学生FDグループ)が発足して以来、初めて新規スタッフを募集した(第2期学生FDスタッフ)。その結果、新入生が12名加わり、過去年度からの継続スタッフ(平成23年度に臨時スタッフとなり新年度から正規スタッフとなった4名を含む)を含め合計17名の陣容となった。

1) 学生・教職員合同会議

月1回開催する学生・教職員合同会議は、平成24年4月から平成25年3月までに計10回開催された。各会議での主な議題は右の通り:

第12回(4月6日):代表・副代表の選出について

第13回(5月25日):部署の設置について/学務系職員研修における学生FDグループの活動報告について/ヨコマガの取材について

第14回(6月29日):しゃべり場について

第15回(7月27日):オープンキャンパスにおける学生FDグループ主催の企画について

第16回(10月29日):学生FDスタッフ委嘱取り消しについて/「公開授業」参加のお誘い

第17回(11月12日):しゃべり場について/学生目線のシラバス作成について

第18回(12月10日):しゃべり場について/「裏シラバス(仮称)」について

第19回(1月16日):「裏シラバス(仮称)」について

第20回(2月27日):「学生目線のシラバス(学バス)」について/現役学生FDスタッフの継続について

第21回(3月21日):新規スタッフの募集について/新入生歓迎企画について

2) 学生FDグループ企画のイベント

本年度は、学生FDグループが様々なイベントを企画・実施した。

■「ランチ・ミーティング」

新規スタッフの勧誘を兼ね、4月下旬の平日昼休みに図書館1階の情報ラウンジにて、昼食持ち込みで誰でも自由に参加できる話し合いの場を設けた。参加者は30名ほど(延べ人数)で、その中から1年生数名が新規スタッフに志願してくれた。

■「しゃべり場」①

6月29日16時30分より教育文化ホール中集会室において、SDグループ「学びのひろば」との共催で実施した。3つのテーマ(「教養教育の問題点」、「学内の居場所づくり」、「成績評価の透明性」)別にグループ・ディスカッションを行った。参加者は学生18名、教員10名、職員17名の計45名。

■オープンキャンパスでの「しゃべり場」②

鈴木学長よりご提案をいただき、8月5、6日のオープンキャンパス時に、完成間もない学生センター1階において高校生を対象に「しゃべり場」

を開催した。テーマは「未来図をつくろう！～国大生とつくる夢の設計図」。2日間で約140名の高校生が参加した。

■「しゃべり場」③

12月17日16時30分より教育人間科学部7号館において、「(教養教育科目の)抽選制度の改善策」をテーマに開催した。

3) 他大学イベント等への参加実績

「学内重点化競争的経費」より配分していただいた予算で、他大学での教育改善に関する学生交流イベントや、FD推進部主催のFD合宿研修会に学生FDスタッフを派遣した：

- 学生FDサミット・2012夏@立命館大学
平成24年8月25-26日 参加者4名
- FD合宿研修会@八王子大学セミナーハウス
平成24年8月31日 参加者4名
- 第1回関東圏FD学生ワークショップ@青山学院大学
平成24年11月24日 参加者4名
- 学生FDサミット・2013春@岡山大学
平成25年3月5-6日 参加者5名
- 第2回関東圏FD学生フォーラム@法政大学
平成25年3月9日 参加者4名

FDニュースレターWG活動報告

FDニュースレターは、平成23年度第16号より、インターネット上で公開されるウェブ版と、印刷物の紙媒体版の2種類の形式で発行されている。ウェブ版では、従来どおりの充実した内容を掲載し、紙媒体版はウェブ版の内容を要約(4頁)している。今年度は、第20号から23号と特別号を発行した。各号の記事内容は下記のとおりであり、頁数はウェブの頁数を、[]内は紙媒体版の頁数を示している。

1)第20号(2012年6月発行、15頁[4頁])

- (1) 大学教育総合センター長着任のご挨拶
- (2) 平成24年度FD推進部活動方針
- (3) 平成24年度初任教員研修会を開催
- (4) TA(ティーチング・アシスタント)研修会を開催
- (5) 各部署のFD活動「経営学部 公開授業」

- (6) カリキュラム・ツリーの作成に向けて
- (7) 他大学訪問調査報告「金沢大学」
- (8) FD合宿研修会のお知らせ

2)第21号(2012年9月発行、20頁[4頁])

- (1) FD合宿研修会の目的と概要
第1日目の研修内容/第2日目の研修内容/参加者のアンケート・感想
- (2) 春学期公開授業の目的と概要
理工学部/教育人間科学部/留学生センター/経営学部
- (3) 教育改善学生スタッフ主催「しゃべり場」について
- (4) 外部セミナー参加報告
- (5) FDシンポジウムのお知らせ

3)第22号(2012年12月発行、20頁[4頁])

- (1) FDシンポジウムの開催について
目的と概要/第1部/第2部/第3部
- (2) 学務系職員研修会
- (3) 各部署の取り組み
教育人間科学部/留学生センター
- (4) 2012夏 学生FDサミット参加報告
- (5) Team-based Learningの紹介
- (6) 授業アンケートの実施、および自己点検票作成のお願い

4)特別号「平成23年度授業評価アンケート実施状況・分析」(2012年12月発行、- [8頁])

平成23年度授業評価アンケート実施状況/受講者人数別集計・分析/まとめ

5)第23号(2013年3月発行、16頁[4頁])

- (1) 秋学期公開授業の実施状況
教育人間科学部/経済学部/経営学部/理工学部
- (2) FDミニシンポジウム(学生ポートフォリオ)
- (3) 各部署の取り組み
国際社会科学研究所/経済学部/経営学部/理工学部/環境情報学部
- (4) 学生FDスタッフのページ
- (5) TA研修会のお知らせ

6)特別号(2013年3月発行、平成24年度

FD推進部会活動報告書、12頁[11頁])

- (1) 巻頭言
- (2) 研修会・シンポジウムWG活動報告
- (3) 合宿研修会WG活動報告
- (4) 学生参加型FDWG活動報告
- (5)FD ニュースレターWG活動報告
- (6)公開授業WG活動報告
- (7)授業改善WG活動報告
- (8)外部セミナー参加実績記録
- (9)FD推進部会開催記録/委員名簿



公開授業の様子(春学期)

公開授業WG活動報告

公開授業は、ベストティーチャーによる優れた授業を参観する場や、教員が自らの授業を公開または相互参観して授業改善につなげる機会を提供することを主な目的として実施されている。本年度は春学期4回、秋学期9回、全13回の公開授業が開講された。公開授業の科目と日時、場所は以下の通りである。

春学期の公開授業の科目と実施日時、場所(4回)

- ① 「日本の近代文学」 一柳 廣孝 教授
7月9日(月)2限 教育人間科学部講義棟8号館103教室
- ② 「J111漢字・語彙」 藤井 桂子 教授
7月9日(月)3限 留学生センター106教室
- ③ 「陸上」 伊藤 信之 教授
7月9日(月)3限 陸上競技場
- ④ 「グループ思考システム論」 田名部 元成 教授
7月11日(水)2限 経営学部講義棟(B棟)208教室

秋学期の公開授業の科目と実施日時、場所(9回)

- ⑤ 「現代社会福祉演習(学部ゼミ)」 相馬 直子 准教授
10月26日(金)3限 経済学部314ゼミ室
- ⑥ 「分子生物学」 栗原 靖之 教授
11月13日(火)4限 理工学部講義棟A105
- ⑦ 「スタジオI III」 川添 裕教授
11月14日(水)4限 附属図書館メディアホール

- ⑧ 「情報と社会」 室井 尚 教授
11月26日(月)3限 教育人間科学部6-102教室
- ⑨ 「プログラミング入門」 濱上 知樹 教授
11月27日(火)1限 理工学部講義棟A201
- ⑩ 「国際人事管理論II」 柴田 裕通 教授
11月28日(水)4限 経営学部B棟208教室N3-3
- ⑪ 「英語アドバンスト」 マッコレー アレクサンダー 教授
12月14日(金)3限 経済学部教室203
- ⑫ 「物理工学実験情報演習C」 梅原 出 教授
1月16日(水)3限 自然科学系総合研究棟I 303
- ⑬ 「課題プロジェクト演習 都市と法」 松橋 圭子 経済学部非常勤教員(プロジェクト科目統括マネージャー)
1月28日(月)3限 経済学部314ゼミ室



公開授業の様子(秋学期)

幾つかの科目の内容を紹介すると、②は日本語初学者向けに、漢字は難しいというイメージを払拭し、基本から自立学習につなげること、④はパンの製造販売ゲームなどを通してビジネス構造

に対する理解を深め、経営意思決定の分析眼を養うことを目標とした科目とのこと。また、⑨ではプログラミング初学者向けに、C言語の基礎から制御構造までを一通り習得できる内容、⑩では企業における人事管理制度について国による違いと最新動向を学べる内容が提供されている。⑦では、公開講座にあわせて横浜市副市長の鈴木 伸哉氏による講演会「みなとみらい 21 地区と横浜駅西口周辺地区の街づくり」が開催され、会場は150人近い聴衆で満席になった。

ご多忙にも関わらず、ご協力頂いた先生方に御礼申し上げます。来年度も公開授業が初任教員の研修、あるいは各教員、学生FDスタッフ、職員の研修の場として大いに活用され継続されることを願う。

授業改善WG活動報告

「授業評価アンケート」の抜本的改革

1) ●今年度の変更点

授業改善WGでは、平成23年度より「授業評価アンケートの抜本的改革」と銘打ち、様々な議論を重ねてきた。今年度は、昨年度の審議を踏まえて「アンケートの名称変更」および「設問項目の並び替え」を行い、アンケートを実施した。

名称変更については、「アンケートは学生に授業を『評価』してもらうことが目的ではなく、授業の『改善』のために行っている」ということから、「学生による授業評価アンケート」を改め「学生による授業アンケート」とした。一方、設問項目の並び替えについては、従前まで一番最後の項目であった自由記述を冒頭に持つことで、積極的に意見を書いてもらうことを期待した。また、これまでは授業の「改善点」のみを尋ねていたが、今回からは「良かった点」を記入する欄も設け、ポジティブな意見を寄せてもらうことで担当教員の励みになればとの思いで工夫を凝らした。その結果、数名の教員から「これまでよりも自由記述欄への記述が増えたように思う」とのお声をいただいた。

2) ●次年度の変更点

今年度は、昨年度に議論し尽くせなかった事項について引き続き検討を行った。そして各学部の意見をまとめ、以下のことを平成25年度より適用することとなった。

1. アンケート実施方法について
従来通りマークシートで行う
 2. 記名制（学籍番号による入力）の導入について
現行のまま無記名式で行う
 3. アンケート項目の見直しについて
 - ① 現行のQ8を下記のように変更する
(現) 授業内容についてどの程度理解できましたか
(新) 教員は、授業で内容を丁寧に説明していましたか
 - ② 現行のQ9を下記のように変更し、Q10に移行する
(現) この授業で考え方・知識・技術などが向上したと思いますか
(新) 授業の到達目標で示された知識や能力は身についたと思いますか
 - ③ Q9として下記の設問を追加する
(新) 授業の内容は理解できたと思いますか
- ※Q4～Q8：授業の進め方および内容について、
Q9～Q11：総合評価
4. アンケート結果に対する学生へのフィードバック（コメント書き）について
今のところ、フィードバックは行わない。
 5. アンケート結果表への記載項目追加
標準偏差を追加する
 6. 自己点検票の改良について
学務情報システムを使ってアンケート結果を見ながらオンライン入力する

特に自己点検票の提出方法としてWeb入力を追加することになったので、次年度以降の実施率の向上が期待される。



学外シンポジウム等参加実績

学外で開催されたFD推進に関するシンポジウムや講演会、または、教育プログラムの成果報告会にFD推進部会委員や職員が積極的に参加し、情報を収集した。収集された情報はFDニューズレターを通して本学教員へ伝えられた。以下の表は参加実績の一部を示している。なお、参加数欄の[]内は教育改善学生スタッフの参加数であり、外数として記載した。

シンポジウム等の名称	開催日	開催地	参加数
大学教育学会 第34回大会「転換期の大学教育」	2012 5/27-28	札幌	1
日本高等教育学会第15回大会	6/2	東京	1
創価大学FDセミナー「学習者中心の授業設計」	6/27	八王子	2
日本教育工学会研究会 ICTを活用したFD	7/7	京都	1
創価大学FDセミナー「グループ学習の改善～協同学習の視点から～」	7/14	八王子	2
帝京大学第1回FDフォーラム「能動的学習～学生を学習させるには」	7/21	八王子	2
大学評価・学位授与機構 平成24年度大学評価フォーラム『「学び」からみる高等教育の未来』	7/23	東京	1
高等教育質保証学会 第2回大会	8/25-26	東京	1
学生FDサミット・2012夏	8/25-26	京都	1[4]
第1回関東圏FD学生フォーラム	9/17	東京	1[9]
新潟大学 大学教育改革フォーラム「学士課程教育における学習成果の質保証」	11/30	東京	1
法政大学 第8回FDフォーラム「授業支援ツールの活用—授業種別のあり方—」	12/8	東京	1
第1回関東山梨地域産学協働協議会「関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善」	2013 1/16	東京	1
朝日教育フォーラム「グローバル人材の育成と活用～大学教育の現場から」	2/1	東京	1
第15回 OECD/Japan セミナー「高等教育のグローバル戦略 —世界動向と政府の役割の再検討—」	2/6	東京	1
静岡大学FD講演会（産業界ニーズGP連携FD研修会）「進化するアクティブ・ラーニング」	2/12	静岡	1
國學院大学平成24年度教育開発シンポジウム「私立大学における学士課程教育と教養教育のこれから」	2/16	東京	1
平成24年度大学間連携共同教育推進事業「学生リーダーシップ・カンファレンス」	2/20-21	愛媛	1
第3回EMIR勉強会	2/22-23	京都	1
学生FDサミット・2013春	3/5-6	岡山	1[5]
第2回関東圏FD学生フォーラム	3/10	東京	2[4]
東京大学教養学部附属教養教育高度化機構シンポジウム「教養教育の高度化を目指した実践と展望」	3/11	東京	1
第19回 大学教育研究フォーラム	3/15-16	京都	1
第2回関東山梨地域産学協働協議会「関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善」	3/26	東京	1
弘前大学訪問調査	3/27	弘前	2

平成 24 年度 FD 推進部会開催記録

No.	開催日時	議題
1	平成 24 年 5 月 8 日(火) 12:10-12:50	委員長代理の選出／平成 23 年度事業報告／平成 24 年度事業計画／平成 24 年度 FD 推進部役割分担／TA 研修会—講義担当—の実施／平成 24 年度春学期授業アンケート／FD ニュースレターの発行／平成 24 年度学内重点化競争的経費の申請／など
2	平成 24 年 6 月 14 日(木) 13:00-13:45	平成 24 年度 FD 合宿研修会／平成 24 年度公開授業／「学生による授業アンケート」のアンケート結果閲覧／など
3	平成 24 年 7 月 18 日(水) 13:00-13:40	平成 24 年度 FD 合宿研修会／授業アンケート／FD ニュースレター／教育改善学生スタッフの委嘱／など
4	平成 24 年 9 月 13 日(木) 9:00-9:50	FD シンポジウム／公開授業／など
5	平成 24 年 10 月 4 日(木) 9:00-9:36	FD シンポジウム／FD ニュースレター／公開授業／など
6	平成 24 年 11 月 19 日(月) 16:20-17:10	平成 24 年度秋学期授業アンケート／FD ニュースレター／公開授業／教育改善学生グループ主催「しゃべり場」／授業アンケートの改善／など
7	平成 24 年 12 月 10 日(月) 9:30-9:55	大学教育総合センターFD 推進部会細則の一部改正／教育改善学生グループの企画／「学生 FD サミット・2013 春」／など
8	平成 25 年 1 月 17 日(木) 16:20-17:35	FD ニュースレター／公開授業／授業アンケート実施状況／授業アンケートの見直し／など
9	平成 25 年 2 月 19 日(火) 9:00-10:00	初任教員研修会／公開授業／FD ニュースレター／クリッカーの導入／など
10	平成 25 年 3 月 4 日(月) 9:00-10:10	「学生目線のシラバス（学バス）」について／授業アンケートについて／TA 研修会について／次年度への引継事項／クリッカーのデモ／など

平成 24 年度 FD 推進部会委員

部門長・兼務教員	上野誠也	国際社会科学研究所	内海朋子
兼務教員	物部博文	工学研究院	眞田一志
専任教員	安野舞子	環境情報研究院	松宮正彦
教育人間科学部	木村昌彦	都市イノベーション研究院	谷 和夫
経済学部	相馬直子	(平成 24 年 10 月より)	菊本 統
経営学部	柴田裕通	留学生センター	藤井桂子

YNU FDニュースレター 特別号

平成 24 年度横浜国立大学FD活動報告書

編集／横浜国立大学 大学教育総合センターFD推進部

作成担当：ニュースレター・ワーキンググループ

事務担当：教務課大学教育係

問合せ先：kyomu.kyouiku@ynu.ac.jp

発行／平成 25 年 3 月

※ご意見・ご感想がありましたら、上記宛までお寄せ下さい。